

日赤医学投稿規程

1. 本誌への投稿は赤十字病院関係者のみならず、一般よりも受ける。
2. 本誌には医歯薬学の綜説、原著、症例報告、雑報等を掲載する。これらは未発表のものに限る。
3. 本誌への投稿原稿については以下の基準による。
 - a 原稿はB5またはA4の大きさの400字詰め横書き原稿用紙に楷書で明確に書き、専門用語以外は常用漢字と現代かなづかい（平仮名）を用いる。
 - b ワードプロセッサ、タイプライターあるいはパーソナル・コンピュータを用いる場合もB5またはA4の用紙に打ち出す。その際、400字詰めにはこだわらないが、行間を10mm以上あける。文書をテキスト保存したフロッピー・ディスクを添付することが望ましい。
 - c 外国語はワードプロセッサまたはタイプライターで打つか、活字体で書く。
 - d 数字は算用数字を用い度量衡の単位はp, g, ml等、C. G. S単位による。
 - e 引用文献は論文の末尾にまとめ、引用番号は本文の引用順による。本文中の引用箇所には肩番号をつける。文献の書き方は下記のように統一し、欧文雑誌の略称は最近のIndex Medicusに従う。

〈雑誌〉 著者、表題、雑誌名、巻、起始最終頁、西暦発行年、著者名が3名以上の場合は最初の2名を書き、その後に他またはet alをつける。

〈単行本〉 著者名、書名、版数、巻数、発行地、西暦発行年、引用頁、引用文献の著者氏名、編集氏名は、3名以上の場合は最初の2名を書き、その後に他またはet alをつける。

雑誌名 1) 細川裕一、川島勝太郎：空中落下細菌の調査。日赤医学 17: 216-220, 1965.

2) Heathfield KWG & Miller AB: A family showing both dystrophia and spastic paraplegia. Neurology 15: 481-485, 1965.

単行本例 1) Jackson R: The cervical syndrome. 2nd ed, Chales C Thomas, Springfield, 1965, p. 94.

2) Zwan AVD: Late results from prolonged traumatic unconsciousness. In: The late effects of head injury. (ed. by Walker AE, Caveness WF, et al), Charles C Thomas Publisher, Springfield, 1968, p. 138.
 - f 筆頭著者名と異なる所属の著者名には必ず肩番号をつけ正確な所属を示す。
 - g 学術論文には必ず欧文表題（著者名および所属を含む）をつける。キーワードを3語つける。
4. 原稿に関する問い合わせは下記へ。

〒105-8521

東京都港区芝大門1-1-3 日本赤十字事業局医療事業部内

日本赤十字社医学会事務局

TEL: 03-3437-7500 FAX: 03-3438-1339

5. 原稿の採否は編集委員会において決定する。
6. 投稿論文でカラー写真を掲載する場合は、その実費を著者から徴収する。
7. 郵送中における紛失事故などに対処するため、論文は2部提出し、原本のコピーを保存しておく。

附 則

1. 改正平成17年4月12日
2. 改正平成19年4月17日